科目名	数学Ａ	履修学年	第１学年
		履修形態	必修
		履修単位	２単位
使用教科書（出版社）	改訂版　新編 数学Ａ(数研出版)		
使用教材（出版社）	改訂版　書き込み式シリーズ　【標準】 教科書傍用　Study－Upノート　数学Ａ		

学習の目標

場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

教科担当者から

○ 授業の進め方
・教科書・ノート・ワーク・プリントを中心に授業を進める。必ず、毎回持参すること。
・板書をノートにしっかりと取り、授業に集中すること。
・授業中にプリントを配布するので、ファイルに整理し、提出できるようにしておくこと。
○ ノート・ワーク
・ノート・ワークの点検は、考査終了時など適宜実施する。提出期限は必ず守ること。
○ 課題
・夏休みの課題・冬休みの課題に関しては、休み明けに必ず提出すること。

評価の観点・方法・割合

観点	① 関心・意欲・態度	② 知識・理解	③ 数学的な技能	④ 数学的な見方や考え方	
規準	場合の数と確率、図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	場合の数と確率、図形における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技法を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	
方法	※　◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎	○	○	○	
ノートワーク	○	○	○	○	
課題	○	○	○	○	
小テスト	○	○	○	○	
定期考査		◎	◎	◎	
割合	20%	45%	25%	10%	

評価の基準　※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
８５点程度以上	７０点程度以上	５０点程度以上	３０点程度以上	３０点程度未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 ①	②	③	④	時間
前期	4	**第２章　整数の性質（27）**						27
		第１節　約数と倍数（13）						
		1　約数と倍数（5）	・素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解させる。	○	○	○	○	
	5	2　最大公約数・最小公倍数（3）	・最大公約数や最小公倍数のいろいろな問題を理解させる。	○	○	○	○	
		3　整数の割り算と商・余り（2）	・除法の原理と剰余による整数の分類について理解させる。	○	○	○		
	6	前期中間考査						1
		第２節　ユークリッドの互除法（8）	・除法の性質をもとにユークリッドの互除法の仕組を理解させる。					
		4　ユークリッドの互除法（3）	・不定方程式の解の意味について理解させる。	○	○	○		
	7	5　１次不定方程式（3）		○		○	○	
		第３節　整数の性質の活用（6）	・分数が有限小数または循環小数で表される仕組を理解させる。					
		6　分数と小数（2）	・２進法などの仕組を理解させる。	○	○	○		
	8	7　ｎ進法（2）		○	○			
	9	前期期末考査						1
		第１章　場合の数と確率（36）						36
		第１節　場合の数（17）	・集合についての基本的な事項を理解させ、統合的に見ることの有用性を認識し、それらを命題などの考察に生かすことができるようにする。					
後期	10	補習資料　集合（2）		○	○			
		1　集合の要素の個数（2）	・順列の意味を理解させ、順列を使った様々な考え方ができるようにする。また、用語や記号の有用性を理解させ、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	
		2　場合の数（4）	・組合せの意味を理解させ、その総数を求められるようにする。	○		○	○	
	11	3　順　列（4）	・用語や記号の有用性を理解させ、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	
		4　組合せ（4）		○	○	○	○	
		後期中間考査						1
	12	**第２節　確　率（18）**	・確率の基本性質について理解させ、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を理解させる。					
		5　事象と確率（3）	・独立試行における確率、反復試行の確率及び条件付き確率について理解し、日常生活における様々な事象に活用できるようにする。	○	○	○	○	
		6　確率の基本性質（4）		○	○	○	○	
	1	7　独立な試行と確率（4）	・結果を予想し、グループ内で発表や検証を行う。	○	○	○		
		8　条件付き確率（4）		○	○	○		
	2							
		学年末考査						1
	3	★課題学習（3）						3
								70